

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 17-009

PDCA	事務事業名	高齢者能力活用推進事業	部課等名	福祉部 高齢介護課 高齢者福祉担当	担当	大岩	
					内線等	376	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち					
		節： 第2節 地域福祉の推進					
		基本施策： 2. 高齢者福祉					
		単位施策： (2) 高齢者生きがいがづくりの推進					
	根拠法令等	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律					
	対象・目的	「退職後も働きたい」「生涯現役でありたい」と願う高齢者を支援し、働く機会を提供することで高齢者の健康の増進と生きがいがづくりを図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	高齢者が豊かな経験や能力を活かすための組織である公益社団法人半田市シルバー人材センターへ補助金を交付することによって、働く意欲をもった高齢者を支援する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		H30年度	R1年度	R2年度	単位
		①理事会の開催回数		13	14	13	回
		②就業件数		5,038	4,677	4,396	回
		③市報への広報記事の掲載回数		2	2	2	件
		事業費		13,224	13,224	13,224	千円
		人件費		625	932	1,234	千円
		総事業費		13,849	14,156	14,458	千円
		活動単位当たりのコスト		H30年度	R1年度	R2年度	単位
	①就業件数1件当たりのコスト		2.7	3.1	3.3	千円	
	成 果	成果指標		H30年度	R1年度	R2年度	単位
		①会員数	実績値	497	483	491	人
			目標値	550	550	550	
		②会員の就業件数	実績値	5,038	4,677	4,396	件
			目標値	5,500	5,500	5,500	
		実績値					
		目標値					
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	C					
		新型コロナウイルスの感染拡大の影響で就業件数が減少したが、会員数は増加した。半田市シルバー人材センターは、コロナ禍で雇用情勢が不安定となる中、就労意欲のある高齢者にとって重要な役割を担っている。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進				
			市報への掲載や会員募集のチラシ配布などの会員数拡大に係る取組に協力し、多様な人材を確保することで、多様な就業依頼に対応できるよう支援する。また、担い手不足となっている高齢者の生活支援サービスBに積極的に取り組んでもらえるよう協議していく。				
		令和3年度の目標	成果指標		目標値		単位
			①会員数		550		人
②会員の就業件数			5,500		件		